令和７年度　白山市立鳥越中学校

学校経営全体構想図

●学校教育目標
「豊かな心と向上心あふれる生徒の育成」~笑顔いっぱいの学校づくり~

●めざす生徒像
(1) 自ら進んで学習する生徒
(2) 互いの良さを認め合い高め合う生徒
(3) 心と体を鍛える健康な生徒
(4)ふるさとに誇りを持つ生徒

●学校の使命（どんな学校にしたいのか）
学校は 生徒にとって「できなかったことができるようになる場所」である。知識を身に付けることはその前段階であり、「できるようになる」と行動面などで表出される。そこで、表出されるまでの道のりを設定しながら、学習面、社会性、身体面など様々な成長を願い、教育活動を行うことが学校の使命である。

●R7学校教育の重点目標
様々な見方・考え方を知り、周囲と折り合いをつけ、自分の意見を持てる

●経営方針【経営の重点】
カリキュラム・マネジメントの柱
「学び合い 高め合う力」

生徒が向上心を持って、自ら考え行動し、「こうなりたい」という理想の姿に向かって邁進する。

●わが校の特色（強みを生かす）
(1)個に応じたきめ細かな指導
(2)外部人材を計画的に活用し、校外学習活動を機動的に実施
(3)白山市ならではの取組
・多様な視点を養うジオ育
・自ら体づくりができる食育
・読解力を高める読育

●具体的教育活動・取り組み（重点事項等を達成するために）
(1) 積極的生徒指導の充実【発達支持的生徒指導】
自分の意見を持つまでの過程を見える化するとともに、子供が主体となる活動を通して自分の意見を持つことを価値づけ、生徒に返すことを繰り返すことで、協働の場面が活性化することを目指す。
(2) 確かな学力を身に付けるための授業づくり【資質・能力の育成】
子供が主体となる活動を大切にしながら、子供の学びを丁寧に見取り、適切な支援をすることで、1人1人が自らの力でゴールに到達できるようにしながら、各教科の資質能力の育成を図る。
(3) 自己有用感を高める指導の推進【特別活動】
生徒の願い・保護者の願い・地域の願い・教職員の願いをお互いが知り、それを課題として生徒自らが解決する。この過程を通して、生徒による学校づくりを推進し、四者がお互いを思いやり、感謝する場面につなげる。
(4) 個別の教育的ニーズに応える教育の推進【特別支援教育】
すべての学級で教育的ニーズを明らかにし、一人一人に必要な指導や支援を行うことで個々の着実な伸長を目指す。

●めざす教職員像（全教職員に必要な仕事に向き合う基本姿勢は何か）
①本校の実態を把握し、課題解決に向けて「チーム」として協働する教職員
②生徒にとって「社会で生きていくためのモデル」となり自ら行動する教職員
③積極的に挑戦していこうと考える教職員（地道にコツコツと）